

ヘーゼルナッツの生産・輸出状況

アゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ生産者・輸出者組合のオルジョフ会長にインタビューし、アゼルバイジャンにおけるヘーゼルナッツの生産・輸出状況及び同会長が CEO を務めるアゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ輸出者コンソーシアム社(AHEC)についてお話を伺いましたので、以下にご紹介します。

1. アゼルバイジャンのヘーゼルナッツ生産・輸出状況

- (1) アゼルバイジャンは世界第3位のヘーゼルナッツ輸出国であり、輸出量は増加傾向にあります。また、アゼルバイジャンは有機ヘーゼルナッツの輸出量では世界第1位です。現在アゼルバイジャンのヘーゼルナッツの輸出先は欧州諸国を中心に20カ国以上あります。アジアでは、ウズベキスタンと日本に輸出実績があります。1850年頃から始まった当地でのヘーゼルナッツ栽培の技術が長年をかけて実を結び、輸出拡大に繋がっています。(参考:国連食糧農業機関によれば2019年のヘーゼルナッツ生産実績は、トルコが1位で約78万トン、イタリアが2位で約10万トン、3位がアゼルバイジャンで約5万トン。)
- (2) 国内には、輸出用ヘーゼルナッツ加工が可能な15の大規模な加工工場がある一方で、基本的な加工のみが可能な約120の小規模加工工場があります。小規模加工工場は、基本加工後の商品を大規模工場に売却しています。
- (3) アゼルバイジャン政府は2017年に、アゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ生産者・輸出者組合を立ち上げましたが、その際にそれまでのアゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ輸出者コンソーシアム社(AHEC)(以下の AHEC に関する記載参照)の成長が評価されて、私が同組合の会長として推薦され、就任しました。現在私はAHECのCEOを務める傍ら、同組合の会長を兼任しています。同組合の会員は70社で、AHECも加盟しています。

2. アゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ輸出者コンソーシアム社(AHEC)

- (1) 概略:私がCEOを務めるアゼルバイジャン・ヘーゼルナッツ輸出者コンソーシアム社(Azerbaijan Hazelnut Exporters Consortium: AHEC)は有限責任会社(LLC)で、本社は(アゼルバイジャンにおけるヘーゼルナッツ生産の中心地)ザガタラ県にあります。私は2005年からヘーゼルナッツ生産に従事するようになり、生産開始当初は国内に市場を限定していましたが、2015年に近隣の同業者と集まってAHECを立ち上げ、輸出も開始しました。現在、AHECは大規模ヘーゼルナッツ輸出業者(加工工場)2社及び小規模輸出業者3社から構成され、毎年アゼルバイ

ジャンのヘーゼルナッツ輸出業者の上位4社に数えられています。

- (2) 生産・加工過程:ヘーゼルナッツは毎年8月下旬から9月上旬が収穫期であり、同時期に農家からのナッツ収集及び工場での加工作業を行います。ナッツ加工工場では、乾燥、脱殻、サイズ選別、必要に応じて焙煎等の追加加工を施しています。
- (3) 主要輸出先:AHECとして生産・加工したヘーゼルナッツは、ほぼ全量が輸出向けです。大口顧客は、イタリアの食品会社フェレーロ社(Ferrero)で、複数年契約を結んでいます。同社はナッツをチョコスプレッドのヌテラ(Nutella)やチョコレート菓子のラファエロ(Raffaello)等に使用しています。イタリア以外では、ドイツやロシアへの輸出が多く、ドライフルーツとナッツの組み合わせ商品やチョコレート菓子に使用されています。
- (4) 対日輸出:AHECの対日輸出量は極めて少量ですが、実績はあります。最近、日本の方がザガタラを訪れ、まず「試験的輸入」として4、5ヶ月前に100キロ分を購入し、その後1トンのローストナッツを購入しています。今後、より大規模な購入を検討していると聞いています。その他にも、日本人の方が経営する企業が3、4ヶ月前にAHECからナッツを購入し、1.1トンの焙煎ナッツを日本に輸出しました。
- (5) 生産能力等:AHECの年間生産能力は5,000トンです。これまでの年間最大生産実績は3,000トンなので生産余力は十分にあります。日本への輸出も増加させたいと考えています。今後の新たな計画としては、欠陥ナッツを焙煎して、燃料チップとして加工し、廃棄物活用商品を生産する計画があります。同商品を輸出できるようにしたいです。

(AHEC ホームページ)

[Azerbaijan Hazelnut Exporters Consortium | Home \(ahec.az\)](http://ahec.az)

(以上)